

学校支援地域本部事業に関するアンケート調査（教育委員会用）

- 貴教育委員会の学校支援地域本部事業担当の方に回答をお願いします。
- 回答はすべて、別紙回答用紙に御記入ください。

問1 学校支援地域本部事業（以下事業）の実施状況についてお答えください。

（1）事業の実施は何年からですか。（どれか1つ）

- ア 平成20年から イ 平成21年から ウ 平成22年から

（2）事業を実施した目的は何ですか。（主なもの3つ）

- ア 児童生徒の確かな学力の向上、学習意欲の向上を図ること
イ 児童生徒の規範意識やコミュニケーション能力の向上を図ること
ウ 教職員の勤務負担の軽減を図ること
エ 地域住民の生きがいをづくりや自己実現を図ること
オ 地域の絆を深め、地域の活性化を図ること
カ その他（具体的に）

（3）事業はうまく進みましたか。（どれか1つ）

- ア うまくいった
イ ある程度うまくいった
ウ あまりうまくいかなかった
エ うまくいかなかった

（4）問1（3）でアかイを選んだ方におたずねします。うまくいった理由は何ですか。（主なもの3つ）

- ア 校長がリーダーシップを発揮しているから
イ 教職員の理解が得られているから
ウ コーディネーターが適任者であったから
エ 理解あるボランティアがたくさん集まったから
オ 地域住民の協力が得られたから
カ 以前からボランティアによる学校支援の仕組みがあったから
キ 市町教育委員会のきめ細かな支援があったから
ク その他（具体的に）

（5）問1（3）でウかエを選んだ方におたずねします。うまくいかなかった理由は何ですか。

（主なもの3つ）

- ア 教職員の理解が得られなかったから
イ 教職員の負担が大きかったから
ウ 地域住民の理解が得られなかったから
エ コーディネーターが十分力を発揮できなかったから
オ ボランティアに参加する地域住民が少なかったから
カ 活動費の使い勝手がよくなかったから
キ 市町教育委員会の支援が不十分だったから
ク その他（具体的に）

（6）事業の効果についておたずねします。次の①～⑩について

ア 効果があった イ ある程度効果があった ウ あまり効果はなかった エ 効果はなかった
のいずれかでお答えください。

【児童生徒】

- ①児童生徒の学力や学習意欲が向上した
②児童の読書への関心が高まった（読書量の増加など）
③児童生徒の規範意識、コミュニケーション能力が向上した（あいさつなど）
④児童生徒の職業についての意識が向上した（人の役に立つことをしたいなど）
⑤地域活動に参加する児童生徒が増えた

【学校・教職員】

- ⑥ボランティアが入ることで学校が活性化した
- ⑦ボランティアが入ることで授業やその他の活動に、よい緊張感が生まれた
- ⑧授業の内容が充実した
- ⑨教職員の負担が軽減された
- ⑩教職員の地域への理解が深まった

【住民・ボランティア】

- ⑪学校に行って子どもとふれ合うことにより、生きがいがあった
- ⑫特技や講座などで学んだことを生かす機会となり、さらに学ぼうとする意欲が高まった
- ⑬いろいろな人たちと交流する機会が増えて、知人や友人が増えた
- ⑭学校の他にも地域活動・ボランティア活動に取り組むようになった
- ⑮児童生徒や学校に対する理解が深まり、学校に協力しようという意識が高まった

【地域社会】

- ⑯地域にある団体の活動が活発になった
- ⑰地域住民どうしのつながりや絆が生まれた
- ⑱地域の安全・安心が確保されるようになった
- ⑲地域の子どもたちを地域全体で育てていこうとする意識が広がった（教育力が高まった）
- ⑳地域づくり・まちづくりに対する機運が高まった

(7) 今年度の取組についておたずねします。(どれか1つ)

- ア 地域を拡大して継続している
- イ 昨年度と同じ地域で継続している
- ウ 継続していない

問2 貴教育委員会からの事業へのサポートについてお答えください。

(1) 地域コーディネーターへのサポートについておたずねします。

ア 十分行っている イ ある程度行っている ウ あまり行っていない エ 行っていない
のいずれかでお答えください。

- ①事業についての指導、助言
- ②コーディネーターからの相談へのアドバイス
- ③コーディネーターの研修や養成
- ④コーディネートのためのマニュアルや事例集などの作成

(2) 学校へのサポートについておたずねします。

ア 十分行っている イ ある程度行っている ウ あまり行っていない エ 行っていない
のいずれかでお答えください。

- ①事業についての指導、助言
- ②学校からの相談へのアドバイス
- ③校長や教職員の研修
- ④学校訪問による学校側への意識向上のための働きかけ
- ⑤ボランティア受け入れのためのマニュアルや事例集などの作成

(3) ボランティアへのサポートについておたずねします。

ア 十分行っている イ ある程度行っている ウ あまり行っていない エ 行っていない
のいずれかでお答えください。

- ①事業についての指導、助言
- ②ボランティアからの相談へのアドバイス
- ③ボランティアの研修や養成
- ④ボランティア活動のためのマニュアルや事例集などの作成

(4) その他、貴教育委員会が取り組んできたことは何ですか。(あてはまるものすべて)

- ア 学校支援ボランティアの広報・募集
- イ ボランティア(人材)バンクの作成
- ウ 事例成果発表会
- エ 他の実施地域本部、実施校との情報交換
- オ 事業を行っていない学校への広報、普及活動
- カ 国や県が主催する研修会や会議への職員の派遣
- キ 事業評価
- ク その他(具体的に)

(5) 地域コーディネーターからは主にどのような相談がありましたか。(3つまで)

- ア コーディネーターどうしのコーディネートの方法・情報等の交換や共有に関する事
- イ 学校との連携に関する事
- ウ ボランティアへの対応に関する事
- エ 保護者への広報やPRに関する事
- オ 地域住民への対応に関する事
- カ 事務処理、予算、物品等に関する事
- キ その他(具体的に)

(6) 学校からは主にどのような相談がありましたか。(3つまで)

- ア ボランティアを活用した教育活動に関する事
- イ 学校における組織体制に関する事
- ウ 事故等の責任の所在に関する事
- エ コーディネーターとの連携に関する事
- オ ボランティアへの対応に関する事
- カ 保護者への広報やPRに関する事
- キ 地域住民への対応に関する事
- ク 事務処理、予算、物品等に関する事
- ケ その他(具体的に)

問3 今後の事業の推進についておたずねします。

(1) 事業推進のために大切だと思うことは何ですか。(主なもの3つ)

- ア 学校側の理解と受入れ体制の整備
- イ 教職員(担当者も含む)の負担の軽減
- ウ コーディネーターの安定的な確保と資質の向上
- エ コーディネーターと学校の円滑なコミュニケーション
- オ コーディネーターとボランティアの円滑なコミュニケーション
- カ ボランティアの安定的な確保と資質の向上
- キ 市町教育委員会による事業のサポート
- ク 保護者や地域住民の理解と協力
- ケ その他(具体的に)

問4 貴教育委員会での事業担当者についておたずねします。

(1) 担当者の現職場での勤務年数をおたずねします。(どれか1つ)

- ア 1～2年 イ 3～4年 ウ 5年以上

(2) 担当者の年齢をおたずねします。(どちらか1つ)

- 20代 30代 40代 50代 60代以上

(3) 担当者は教職員出身ですか。(どちらか1つ)

- ア 教員出身である イ 教員出身ではない

問5 その他、事業を推進するにあたってお気づきのことがありましたら、自由に御記入ください。

御協力、ありがとうございました。

学校支援地域本部事業に関するアンケート調査（学校用）

○貴校において、学校支援地域本部事業に1年以上携わった職員の方に回答をお願いします。

○ 回答はすべて、別紙回答用紙に御記入ください。

問1 学校支援地域本部事業（以下事業）の実施状況についてお答えください。

（1）事業を実施した主な目的は何ですか。（2つまで）

- ア 児童生徒の確かな学力の向上、学習意欲の向上を図ること
- イ 児童生徒の規範意識やコミュニケーション能力の向上を図ること
- ウ 教職員の勤務負担の軽減を図ること
- エ 地域住民の生きがいづくりや自己実現を図ること
- オ 地域の絆を深め、地域の活性化を図ること
- カ その他（具体的に）

（2）事業はうまく進みましたか。（どれか1つ）

- ア うまくいった
- イ ある程度うまくいった
- ウ あまりうまくいっていない
- エ うまくいっていない

（3）問1（2）でアまたはイを選んだ方におたずねします。うまくいった理由は何ですか。（3つまで）

- ア 校長がリーダーシップを発揮しているから
- イ 教職員の理解が得られているから
- ウ コーディネーターが適任者であったから
- エ 理解あるボランティアがたくさん集まったから
- オ 地域住民の協力が得られたから
- カ 以前からボランティアによる学校支援の仕組みがあったから
- キ 市町教育委員会のきめ細やかな支援があったから
- ク その他（具体的に）

（4）問1（2）でウまたはエを選んだ方におたずねします。うまくいかなかった理由は何ですか。（3つまで）

- ア 教職員の理解が得られなかったから
- イ 教職員（担当者も含む）の負担が大きかったから
- ウ 地域住民の理解が得られなかったから
- エ コーディネーターが十分力を発揮できなかったから
- オ ボランティアに参加する地域住民が少なかったから
- カ 活動費の使い勝手がよくなかったから
- キ 市町教育委員会の支援が不十分だったから
- ク その他（具体的に）

（5）具体的に実施したのはどのような取組ですか。（あてはまるものすべて）

- ア 学習指導支援（担当教職員の補助）
- イ 読み聞かせ等の読書指導
- ウ 部活動、クラブ活動指導
- エ 花壇整備等の環境美化活動の支援
- オ 図書室整備等の学習環境整備の支援
- カ 登下校や校外活動等の安全支援
- キ 学校行事の支援（遠足・入学式等）
- ク その他（具体的に）

問2 事業の効果と課題についておたずねします。

（1）事業の効果についておたずねします。次の①～⑩について

ア 効果があった イ ある程度効果があった ウ あまり効果はなかった エ 効果はなかった
のいずれかでお答えください。

【児童生徒】

- ①児童生徒の学力や学習意欲が向上した
- ②児童生徒の読書への関心が高まった（読書量の増加など）
- ③児童生徒の規範意識、コミュニケーション能力が向上した（あいさつなど）
- ④児童生徒の職業についての意識が向上した（人の役に立つことをしたいなど）
- ⑤地域活動に参加する児童生徒が増えた

【学校・教職員】

- ⑥ボランティアが入ることで、学校が活性化した
- ⑦ボランティアが入ることで授業やその他の活動に、よい緊張感が生まれた
- ⑧授業の内容が充実した
- ⑨教職員の負担が軽減された
- ⑩教職員の地域への理解が深まった

(2) 地域コーディネーターを配置した効果はありましたか。(どれか1つ)

- ア 大変効果があった
- イ ある程度効果があった
- ウ あまり効果はなかった
- エ 効果はなかった

(3) 地域コーディネーターとの連携についての課題は何ですか。(主なもの3つまで)

- ア コーディネーターが活動に適したボランティアを確保できない
- イ 学校が多忙で十分な打合せができない
- ウ コーディネーターが多忙で十分な調整や打合せができない
- エ コーディネーターが学校の状況について十分に把握していない
- オ コーディネーターがボランティアの特技や希望について十分に把握していない
- カ コーディネーターとの連携についてのマニュアルや事例集がない
- キ コーディネーターの活動スペースが確保されていない
- ク その他(具体的に)

(4) ボランティアの受入れについての課題は何ですか。(主なもの5つまで)

- ア 学習活動に合ったボランティアが見つかりにくい
- イ 事前の打合せ時間が十分に確保できない
- ウ ボランティアへの接遇、気遣いが負担である
- エ ボランティアの活動例や実践事例の情報が不足し、充実した活動にならない
- オ 依頼した内容と実際に活動した内容にずれがある
- カ 児童生徒やボランティアの安全への配慮が難しい
- キ 一部のボランティアに依頼が偏り、活動できないボランティアがいる
- ク ボランティアの児童生徒への接し方、人権への配慮が不安である
- ケ ボランティアが児童生徒の個人情報を守ることに不安がある
- コ 校内の体制が不十分で、受け入れる環境が整っていない
- サ 教職員の学校支援ボランティアへの理解が不十分である
- シ その他(具体的に)

問3 今後の事業の推進についておたずねします。

(1) 事業推進のために大切だと思うことは何ですか。(主なもの3つ)

- ア 学校側の理解と受入れ体制の整備
- イ 教職員(担当者も含む)の負担の軽減
- ウ コーディネーターの安定的な確保と資質の向上
- エ コーディネーターと学校の円滑なコミュニケーション
- オ コーディネーターとボランティアの円滑なコミュニケーション
- カ ボランティアの安定的な確保と資質の向上
- キ 市町教育委員会による事業のサポート
- ク 保護者や地域住民の理解と協力
- ケ その他(具体的に)

問4 貴校の事業担当職員についておたずねします。

(1) 担当職員(窓口教員)はどなたですか。(どれか1つ)

- ア 校長 イ 教頭(副校長) ウ 教務主任 エ その他の教職員(校務分掌名)
- オ 特に決めていない

(2) 担当職員は社会教育主事有資格者ですか。(どちらか1つ)

- ア 有資格者である イ 有資格者ではない

問5 その他、事業を推進するにあたってお気づきのことがありましたら、自由に御記入ください。

御協力、ありがとうございました。

学校支援地域本部事業に関するアンケート調査

(地域コーディネーター用)

- ☐ 各学校支援地域本部で地域コーディネーターとして活動されている方
(各支援本部1名)に回答をお願いします。
- ☐ 活動状況については平成22年度の内容で回答してください。
- ☐ 回答はすべて、別紙回答用紙に御記入ください。

問1 コーディネーターとしての活動状況についてお答えください。

(1) あなたがコーディネーターを始めたのはいつからですか。

平成 年 月 から

(2) あなたが活動していた学校数はいくつですか。()内に数字を記入してください。

小学校 (校) 中学校 (校)

(3) 活動の際に、拠点となる場所(ボランティア室など)はありましたか。(どちらか1つ)

ア あった イ なかった

(4) 問1(3)でアと答えた方におたずねします。そこはどこですか。(主な場所を1つ)

ア 職員室 イ 図書室 ウ 余裕教室 エ 校内の専用室 オ その他(具体的に)

(5) コーディネーターとしての謝金はありましたか。(どちらか1つ)

ア ある イ ない

(6) あなたが昨年度学校を訪れた回数はどのくらいですか。(どれか1つ)

ア 週に4回以上
イ 週に2～3回
ウ 週に1回程度
エ 月に2～3回
オ 月に1回程度
カ その他(具体的に)

(7) あなたがコーディネーターになったきっかけは何ですか。(どれか1つ)

ア 校長から声をかけられた
イ 教育委員会から声をかけられた
ウ 自分から希望した
エ 知り合いや仲間から声をかけられた
オ その他(具体的に)

(8) コーディネーターになった主な目的は何ですか。(3つまで)

ア 児童生徒の確かな学力の向上、授業態度の向上を図るため
イ 児童生徒の規範意識やコミュニケーション能力の向上を図るため
ウ 教職員の勤務負担の軽減を図るため
エ 地域住民の生きがいづくりや自己実現を図るため
オ 地域の絆を深め、地域の活性化を図るため
カ その他(具体的に)

(9) 活動はうまく進みましたか。(どれか1つ)

- ア うまくいった
- イ ある程度うまくいった
- ウ あまりうまくいっていない
- エ うまくいっていない

(10) 活動によりどのような効果があったと思いますか。次の①～⑳について

ア 効果があった イ ある程度効果があった ウ あまり効果はなかった エ 効果はなかった
のいずれかでお答えください。

【児童生徒】

- ①児童生徒の学力や学習意欲が向上した
- ②児童の読書への関心が高まった（読書量の増加など）
- ③児童生徒の規範意識、コミュニケーション能力が向上した（あいさつなど）
- ④児童生徒の職業についての意識が向上した（人の役に立つことをしたいなど）
- ⑤地域活動に参加する児童生徒が増えた

【学校・教職員】

- ⑥ボランティアが入ることで、学校が活性化した
- ⑦ボランティアが入ることで授業やその他の活動に、よい緊張感が生まれた
- ⑧授業の内容が充実した
- ⑨教職員の負担が軽減された
- ⑩教職員の地域への理解が深まった

【住民・ボランティア】

- ⑪学校に行って子どもとふれ合うことにより、生きがいがあった
- ⑫特技や講座などで学んだことを生かす機会となり、さらに学ぼうとする意欲が高まった
- ⑬いろいろな人たちと交流する機会が増えて、知人や友人が増えた
- ⑭学校の他にも地域活動・ボランティア活動に取り組むようになった
- ⑮児童生徒や学校に対する理解が深まり、学校に協力しようという意識が高まった

【地域社会】

- ⑯地域にある団体の活動が活発になった
- ⑰地域住民どうしのつながりや絆が生まれた
- ⑱地域の安全・安心が確保されるようになった
- ⑲地域の子どもたちを地域全体で育てていこうとする意識が広がった（教育力が高まった）
- ⑳地域づくり・まちづくりに対する機運が高まった

(11) 具体的にどのような活動をしましたか。(あてはまるものすべて)

- ア 組織づくり
- イ ボランティア情報の収集
- ウ ボランティア活動の相談
- エ ボランティアの募集
- オ ボランティア情報の学校への提供
- カ 学校のニーズの把握
- キ 連絡・調整
- ク 広報紙づくり
- ケ 打合せ・会議の企画や参加
- コ 研修の企画（研修名）
- サ その他（具体的に）

(12) 具体的にコーディネートした内容の割合を全体が10になるようにお答えください。

(全体の5割であれば5/10のように)

- ア 学習指導支援（担当教職員の補助）
- イ 読み聞かせ等の読書指導
- ウ 部活動、クラブ活動指導
- エ 花壇整備等の環境美化活動の支援
- オ 図書室整備等の学習環境整備の支援
- カ 登下校や校外活動等の安全支援
- キ 学校行事の支援（遠足・入学式等）
- ク その他（具体的に）

問2 学校やボランティアとの関わりについておたずねします。

(1) 学校の要望はどのように把握しましたか。（あてはまるものすべて）

- ア 定期的な打合せ
- イ 必要に応じて打合せ
- ウ 教職員との日常の会話から
- エ ボランティアから話を聞いて
- オ 地域教育協議会等で
- カ その他（具体的に）

(2) ボランティアの要望はどのように把握しましたか。（あてはまるものすべて）

- ア 定期的な打合せ
- イ 必要に応じて打合せ
- ウ ボランティアとの日常会話から
- エ 学校や地域住民組織（自治会等）等から話を聞いて
- オ その他（具体的に）

(3) コーディネート上の課題は何ですか。（主なもの3つ）

- ア 事業について学校が十分理解していない
- イ コーディネーターの業務が多忙で十分な調整ができない
- ウ 教職員が多忙で十分な打合せができない
- エ 活動に適したボランティアを探すのが難しい
- オ ボランティアが学校を理解していない
- カ 保護者や地域住民へのPRが十分ではない
- キ 他のコーディネーターとの協力が十分ではない
- ク コーディネートのためのマニュアルや事例集がない
- ケ コーディネートについての研修の機会が十分ではない
- コ その他（具体的に）

問3 今後の事業の推進についておたずねします。

(1) スムーズなコーディネートのために大切だと思うことは何ですか。（主なもの3つ）

- ア 学校側の理解と受入れ体制の整備
- イ 教職員（担当者も含む）の負担の軽減
- ウ コーディネーターの安定的な確保と資質の向上
- エ コーディネーターと学校の円滑なコミュニケーション
- オ コーディネーターとボランティアの円滑なコミュニケーション
- カ ボランティアの安定的な確保と資質の向上
- キ 教育委員会による事業のサポート
- ク 保護者や地域住民の理解と協力
- ケ その他（具体的に）

問4 地域コーディネーター自身のことについておたずねします。

(1) 性別をお答えください。(どちらか1つ)

女 男

(2) 年齢であてはまるものを選んでください。(どれか1つ)

20代 30代 40代 50代 60代 70代

(3) 属性は何ですか。(あてはまるものすべて)

- ア 現保護者
- イ 元保護者
- ウ 教職員
- エ 元教職員
- オ 地域住民組織関係者(自治会等)
- カ 地域活動団体関係者(NPO法人等)
- キ 行政職員
- ク その他(具体的に)

問5 その他、事業を推進するにあたってお気づきのことがありましたら、自由に御記入ください。

御協力、ありがとうございました。

学校支援地域本部事業に関するアンケート調査

(学校支援ボランティア用)

○各学校で学校支援ボランティアとして活動されている方に回答をお願いします。

○活動状況については平成22年度の内容で回答してください。

○回答はすべて、別紙回答用紙に御記入ください。

問1 回答者についておたずねします。

(1) 性別は何ですか。(どちらか1つ)

女 男

(2) 年齢であてはまるものを選んでください。(どれか1つ)

20代 30代 40代 50代 60代 70代以上

(3) 属性は何ですか。(あてはまるものすべて)

ア 現保護者 イ 元保護者 ウ 教職員 エ 元教職員
オ 地域住民組織関係者(自治会等) カ 地域活動団体関係者(NPO法人含む)
キ 行政職員 ク その他(具体的に)

問2 学校支援ボランティアとしての活動状況についてお答えください。

(1) 活動している学校数は何校ですか。() 内に数字を記入してください。

小学校 () 校

中学校 () 校

(2) 昨年度(平成22年度)学校を訪れた回数はどのくらいですか。(どれか1つ)

ア 週に4回以上

イ 週に2～3回

ウ 週に1回程度

エ 月に2～3回

オ 月に1回程度

カ その他(具体的に)

(3) 学校支援ボランティアを始めたきっかけは何ですか。(どれか1つ)

ア 校長から声をかけられた

イ 教育委員会から声をかけられた

ウ 自分から提案した

エ 知り合いや仲間から声をかけられた

オ その他(具体的に)

(4) 学校支援ボランティアとしてどのような分野で活動していますか。(あてはまるものすべて)

ア 学習指導支援(担当教職員の補助)

イ 読み聞かせ等の読書指導

ウ 部活動、クラブ活動指導

エ 花壇整備等の環境美化活動の支援

オ 図書室整備等の学習環境整備の支援

カ 登下校や校外活動等の安全支援

キ 学校行事の支援(遠足・入学式等)

ク その他(具体的に)

- (5) 学校支援ボランティアとして活動することによる御自身へ影響や変化についておたずねします。
ア 大いにあった イ ある程度あった ウ あまりなかった エ なかったのいずれかでお答えください。
- ①学校に行って子どもとふれ合うことにより、生きがいがあった
 - ②特技や講座などで学んだことを生かす機会となり、さらに学ぼうとする意欲が高まった
 - ③いろいろな人たちと交流する機会が増えて、知人や友人が増えた
 - ④学校の他でも地域活動・ボランティア活動に取り組むようになった
 - ⑤児童生徒や学校に対する理解が深まり、学校に協力しようという意識が高まった
- (6) 地域コーディネーターを配置した効果はありましたか。(どれか1つ)
- ア 大変効果があった
 - イ ある程度効果があった
 - ウ あまり効果はなかった
 - エ 効果はなかった

問3 今後の活動の推進についておたずねします。

- (1) 学校支援ボランティア活動をさらに推進するために大切と思うことは何ですか。(主なもの3つ)
- ア コーディネーターとのコミュニケーション
 - イ ボランティア室や掲示板などの環境整備
 - ウ ボランティア活動のための手引きや事例集の作成
 - エ 交通費、材料費、保険料などの費用負担
 - オ 身近な場所での研修会の実施
 - カ 教職員とのコミュニケーションの場や手段の確保
 - キ その他(具体的に)

- (2) その他、事業を推進するにあたってお気づきのことがありましたら、自由に御記入ください。

御協力、ありがとうございました。

学校支援地域本部事業に関するアンケート
回答用紙（NO.1） （教育委員会用）

教育委員会名	
記入者職・氏名	

※あてはまる選択肢に、○をつけてください。その他を選んだ場合には、記号に○印をつけた上で、内に具体的な内容を御記入ください。

問1	(1)	ア イ ウ									
	(2)	ア イ ウ エ オ カ									
	(3)	ア イ ウ エ									
	(4)	ア イ ウ エ オ カ キ ク									
	(5)	ア イ ウ エ オ カ キ ク									
	(6)	①	ア	イ	ウ	エ	⑪	ア	イ	ウ	エ
		②	ア	イ	ウ	エ	⑫	ア	イ	ウ	エ
	③	ア	イ	ウ	エ	⑬	ア	イ	ウ	エ	
	④	ア	イ	ウ	エ	⑭	ア	イ	ウ	エ	
	⑤	ア	イ	ウ	エ	⑮	ア	イ	ウ	エ	
	⑥	ア	イ	ウ	エ	⑯	ア	イ	ウ	エ	
	⑦	ア	イ	ウ	エ	⑰	ア	イ	ウ	エ	
	⑧	ア	イ	ウ	エ	⑱	ア	イ	ウ	エ	
	⑨	ア	イ	ウ	エ	⑲	ア	イ	ウ	エ	
	⑩	ア	イ	ウ	エ	⑳	ア	イ	ウ	エ	
	(7)	ア イ ウ									
問2	(1)	①	ア	イ	ウ	エ					
		②	ア	イ	ウ	エ					
		③	ア	イ	ウ	エ					
		④	ア	イ	ウ	エ					

NO.2 ~

問 2	(2)	①	ア	イ	ウ	エ		
		②	ア	イ	ウ	エ		
		③	ア	イ	ウ	エ		
		④	ア	イ	ウ	エ		
		⑤	ア	イ	ウ	エ		
	(3)	①	ア	イ	ウ	エ		
		②	ア	イ	ウ	エ		
		③	ア	イ	ウ	エ		
		④	ア	イ	ウ	エ		
	(4)	ア イ ウ エ オ カ キ ク						
	(5)	ア イ ウ エ オ カ キ						
(6)	ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ							
問 3	(1)	ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ						
問 4	(1)	ア イ ウ						
	(2)	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代以上		
	(3)	ア イ						
問 5								

御協力ありがとうございました。回答用紙 NO.1、NO.2 のみを FAX にて御返信ください。

送 り 先	栃 木 県 総 合 教 育 セ ン タ ー 生 涯 学 習 部 FAX 028-665-7219
-------	---

学校支援地域本部事業に関するアンケート 回答用紙（NO. 1）

（学校用）

学校名	
記入者職・氏名	

※あてはまる選択肢に、○をつけてください。その他を 選んだ場合には、記号に○印をつけた上で、内に具体的な内容を御記入ください。

問1	(1)	ア イ ウ エ オ カ					
	(2)	ア イ ウ エ					
	(3)	ア イ ウ エ オ カ キ ク					
	(4)	ア イ ウ エ オ カ キ ク					
	(5)	ア イ ウ エ オ カ キ ク					
問2	(1)	①	ア	イ	ウ	エ	
		②	ア	イ	ウ	エ	
		③	ア	イ	ウ	エ	
		④	ア	イ	ウ	エ	
		⑤	ア	イ	ウ	エ	
		⑥	ア	イ	ウ	エ	
		⑦	ア	イ	ウ	エ	
		⑧	ア	イ	ウ	エ	
		⑨	ア	イ	ウ	エ	
		⑩	ア	イ	ウ	エ	
	(2)	ア イ ウ エ					

NO.2へ

回答用紙 (NO. 2)

(学 校 用)

問 2	(3)	ア イ ウ エ オ カ キ ク
	(4)	ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ
問 3	(1)	ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ
問 4	(1)	ア イ ウ エ オ
	(2)	ア イ
問 5		

御協力ありがとうございました。回答用紙 NO.1、NO.2 のみを FAX にて御返信ください。

送 り 先	栃 木 県 総 合 教 育 セ ン タ ー 生 涯 学 習 部 FAX 028-665-7219
-------	---

学校支援地域本部事業に関するアンケート 回答用紙(NO. 1) (地域コーディネーター)

地域本部名	
記入者職・氏名	

※あてはまる選択肢に、○をつけてください。その 他を選んだ場合には、記号に○印をつけた上で、内に具体的な内容を御記入ください。

問 1	(1)	平成 () 年 () 月								
	(2)	小学校 () 校		中学校 () 校						
	(3)	ア イ								
	(4)	ア イ ウ エ オ 								
	(5)	ア イ								
	(6)	ア イ ウ エ オ カ 								
	(7)	ア イ ウ エ オ 								
	(8)	ア イ ウ エ オ カ 								
	(9)	ア イ ウ エ								
	(10)	①	ア	イ	ウ	エ	⑥	ア	イ	ウ
②		ア	イ	ウ	エ	⑦	ア	イ	ウ	エ
③		ア	イ	ウ	エ	⑧	ア	イ	ウ	エ
④		ア	イ	ウ	エ	⑨	ア	イ	ウ	エ
⑤		ア	イ	ウ	エ	⑩	ア	イ	ウ	エ

NO. 2へ

回答用紙 (NO. 2)

(地 域 コ ー デ ィ ネ ー タ ー)

問 1	(10)	⑪	ア	イ	ウ	エ	⑫	ア	イ	ウ	エ
		⑬	ア	イ	ウ	エ	⑭	ア	イ	ウ	エ
		⑮	ア	イ	ウ	エ	⑯	ア	イ	ウ	エ
		⑰	ア	イ	ウ	エ	⑱	ア	イ	ウ	エ
		⑲	ア	イ	ウ	エ	⑳	ア	イ	ウ	エ
問 1	(11)	ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ									
	(12)	ア (/ 10) イ (/ 10) ウ (/ 10) エ (/ 10) オ (/ 10) カ (/ 10) キ (/ 10) ク (/ 10) クの内容									
問 2	(1)	ア イ ウ エ オ カ									
	(2)	ア イ ウ エ オ カ									
	(3)	ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ									
問 3	(1)	ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ									
問 4	(1)	女 男									
	(2)	20 代 30 代 40 代 50 代 60 代 70 代以上									
	(3)	ア イ ウ エ オ カ キ ク									
問 5											

御協力ありがとうございました。回答用紙 NO.1、NO.2 のみを FAX にて御返信ください。

送 り 先	栃 木 県 総 合 教 育 セ ン タ ー 生 涯 学 習 部 FAX 028-665-7219
-------	--

学校支援地域本部事業に関するアンケート 回答用紙 (学校支援ボランティア用)

主に活動している 学 校 名	
記入者氏名	

※あてはまる選択肢に、○をつけてください。その 他を選んだ場合には、
記号に○印をつけた上で、 内に具体的な内容を御記入ください。

問 1	(1)	女 男								
	(2)	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代以上			
	(3)	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	
問 2	(1)	小学校 () 校			中学校 () 校					
	(2)	ア	イ	ウ	エ	オ	カ			
	(3)	ア	イ	ウ	エ	オ				
	(4)	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	
	(5)	①	ア	イ	ウ	エ	④	ア	イ	ウ
	②	ア	イ	ウ	エ	⑤	ア	イ	ウ	エ
	③	ア	イ	ウ	エ					
(6)	ア イ ウ エ									
問 3	(1)	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ		
	(2)									

御協力ありがとうございました。回答用紙のみを FAX にて御返信
ください。

送り先	栃 木 県 総 合 教 育 セ ン タ ー 生 涯 学 習 部 FAX 028-665-7219
-----	--